

地理情報標準認定資格 (S-GI-Cert) の特別講習会を開催

この度、G空間EXPO2014の講演会において、来年度の地理情報標準認定資格試験のための特別講習を行います。現在、地理情報標準認定資格試験合格者は、初級技術者481名、中級技術者41名※、上級技術者6名となっています。また、国土地理院が定める「請負測量業務の競争入札のための測量技術者の認定資格」に登録され、それぞれ区分C、区分B、区分Aに認定されました。これからの地理空間情報の共有化や再利用の促進には、不可欠な技術であり、来たるべきオープンデータ時代の必須資格です。是非、この機会を資格取得の準備に活用いただければ幸いです。

主催：公益財団法人日本測量調査技術協会

日時：平成26年11月13日(木)

10:30~12:30 (G空間EXPO初日)

会場：日本科学未来館 7階 会議室2

名称：地理情報標準の最新動向と地理情報標準認定資格 (S-GI-Cert) 講習・試験のポイント

内容：地理情報標準に関する最新動向と地理情報標準プロフィール (JPGIS) 2014等の解説及び平成27年度に実施される地理情報標準認定資格 (S-GI-Cert) 講習・試験のポイントを分かりやすく講演します。測量CPD、設計CPDポイントの対象です。

申込み：測技協ホームページ「セミナー」よりお申込み下さい。当日受付も可能です。

<http://www.sokugikyo.or.jp>



■プログラム

10:30~ 10:35	主催者挨拶	公益財団法人日本測量調査技術協会 会長 岡部 篤行
10:35~ 11:05	講演1 地理情報標準の最新動向 ・地理情報標準に関する最新動向 ・地理情報標準プロフィール (JPGIS) 2014の概要 ・地理情報標準認定資格 (S-GI-Cert) の概要	地理情報標準認定資格制度 講習・試験委員会 委員長 大伴 真吾 (朝日航洋株式会社)
11:05~ 12:30	講演2 地理情報標準認定資格 (S-GI-Cert) 特別講習 ー地理情報標準認定資格 (S-GI-Cert) 講習・試験のポイントー 科目1 地理情報標準の概要 科目2 作成すべきデータ (応用スキーマ) 科目3 品質の考え方及び評価方法 科目4 メタデータ及びその作成方法 科目5 製品仕様書	地理情報標準認定資格制度 講習・試験委員会 委員 山田 秀之 (アジア航測株式会社)
12:30~ 12:35	閉会挨拶	公益財団法人日本測量調査技術協会 事務局長 津沢 正晴

地理情報標準認定資格 (S-GI-Cert) の平成26年度の講習・試験の実施報告は TOPICS3 をご覧ください。
平成27年度の講習・試験の詳細は次ページをご覧ください。

※平成26年度中級技術者合格発表予定者を含む

測量CPD
設計CPD対象講習

国土交通省 国土地理院
測量技術者の認定資格登録

2015年度

地理情報標準認定技術者

S-GI-Cert

Certification of Professionals in Standards for Geographic Information

地理情報標準認定資格講習・試験

地理情報標準 (ISO19100シリーズ、JIS X 7100シリーズ及びJPGIS) に関する知識・技能を認定します。GISを構築・運用する「技術者」から「エンドユーザ (利用者)」まで、GISに関係する全ての人が必要とする知識・技能に応じて、3区分で能力を認定します。

	<p style="text-align: center;">上級技術者</p> <p>10年以上の実務経験者で、測量士またはIPA情報処理技術者 (Lv4以上) または技術士で、且つ中級技術者登録者を、試験で認定。5年毎の更新講習で能力を維持。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理情報標準に準拠して、データの取得・管理・交換・応用に関する課題発見・分析・解決ができる。 ・地理情報標準に準拠して、データ・システムの最適組合せによる高度なサービスの構築ができる。 ・地理情報標準に準拠して、構築したサービスの安定的な運用ができる。
	<p style="text-align: center;">中級技術者</p> <p>7年以上の実務経験者で、測量士 (補) またはIPA情報処理技術者 (Lv2以上) または技術士一次試験合格者で、且つ初級技術者登録者を、講習会受講と試験で認定。5年毎の更新講習で能力を維持。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理情報標準の技術解説ができ、且つ関連規格の策定ができる。 ・需要者の要求に基づき、地理情報標準準拠の製品仕様書及びデータの作成ができる。 ・需要者の要求に基づき、地理情報標準準拠の応用システムの設計・開発ができる。
	<p style="text-align: center;">初級技術者</p> <p>講習会受講と試験で認定。5年毎の更新講習で能力を維持。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理情報標準の基礎を理解している。 ・地理情報標準準拠の製品仕様書の内容を理解できる。 ・地理情報標準準拠のデータ及び品質評価の考え方が理解できる。

S-GI-Cert

検索

http://www.sokugikyo.or.jp/geographic_information/index.html

	初級技術者講習・試験	中級技術者講習・試験	上級技術者試験
申込期間	2015年4月～6月予定	2015年8月～9月予定	2016年3月頃予定
実施日	2015年7月予定	2015年10月予定 (3日間)	2016年5月頃予定
会場	札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・福岡	東京・大阪	東京
費用 (税抜)	講習 15,000円 (12,000円) 試験 7,000円 (5,600円) ※カッパ内: 学割	講習 50,000円 試験 10,000円	試験 30,000円

※各会場の定員に達し次第、受付を締め切らせて頂きます。

※予定・費用は変更する場合があります。

※学割は学生証又は在学証明書のコピーが必要です。

※平成26年度初級技術者講習テキスト販売: 2,000円 / 1,600円 (一般価格 / 会員価格) 税込

実施機関: 公益財団法人 日本測量調査技術協会

■受験資格

各区分で、下記の実務経験年数と資格（区分毎に全ての要件）が必要です。

区分	実務経験年数	資格（①と②の両方を満たす者）
初級技術者	不要	不要
中級技術者	実務経験 7 年 （修士、博士含）	①初級技術者認定試験合格者 ②測量士（補）又は情報処理技術者（基本情報技術者以上）又は技術士（補）又は技術士一次試験合格者
上級技術者	実務経験 10 年 （修士、博士含）	①中級技術者認定試験合格者 ②測量士又は情報処理技術者(高度区分)又は技術士

■講習の免除

各区分で、下記何れかの指定講習の受講者は講習の免除を受けて、試験を受けることができます。

区分	指定講習（いずれかを満たす者）
初級技術者	これまでの初級技術者講習
	当協会及び全国測量設計業協会連合会の有償の地理情報標準の研修会
	日本測量協会地理空間情報専門技術認定（GIS1 級・2 級）
	空間情報デザインスクール（SIDS 初級編・または SIDS 中級編）
	国土交通大学校の地理情報標準に関連した研修
中級技術者	これまでの中級技術者講習
	国土交通大学校の地理情報標準に関連した研修
	空間情報デザインスクール（SIDS 中級編）

■講習・試験の科目と実施形式

各区分の講習・試験の科目と実施形式は以下のとおりです。

区分	講習・試験の科目	実施形式
初級技術者	①地理情報標準の基礎に関する知識 ②作成すべきデータに関する知識 ③品質評価に関する知識 ④メタデータに関する知識 ⑤製品仕様書に関する知識	1 日講習・ 同日試験 (択一形式)
中級技術者	①一般地物モデルと応用スキーマ ②空間スキーマ ③時間スキーマ ④応用スキーマ（UML）・空間スキーマ演習 ⑤要求品質 ⑥被覆 ⑦地理識別子 ⑧製品仕様書 ⑨XML ⑩GML	3 日講習・ 最終日試験 (択一および 記述形式)
上級技術者 (予定)	①地理情報標準に準拠したデータの取得・管理・交換・応用に関する課題発見・分析・解決についての実務経験 ②指定された条件で、地理情報標準に準拠したデータ・システムの最適組合せによる高度なサービスの構築 ③指定された条件での地理情報標準に準拠して構築したサービスの安定的な運用	1 日試験 (論文形式)

■認定資格登録（登録料 5,000 円／税抜）

認定資格は地理情報標準認定資格者名簿に登録することによって、正式に付与されます。

■詳細についてのお問い合わせ先

公益財団法人 日本測量調査技術協会 認定資格係

住所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-40-11 看山（かんざん）ビル 9 階

電話 03-3362-6840 / FAX 03-3362-6841 / e-mail : s-gi-cert@sokugikyo.or.jp

実施機関：公益財団法人 日本測量調査技術協会